

むぎた



大木町立大溝小学校だより
令和2年9月15日発行

編集発行（文責）

校長 松延 聡

1年生のじゃがいも植え



農園のお世話をしてくださっている地域の中村ゆたかさんとJAの石山さんが、畑の準備をして待っていると、1年生が意気揚々と登場。説明を聞いて、楽しそうに活動していました。秋の収穫が楽しみです。

大溝小では、全学年が各々農作物の栽培体験をします。

これらの活動を通して、子ども達に農業が盛んな大木町の産業を身近に感じさせ、地域を愛する心を育てていきます。8月号で紹介した「ふるさと学習」の一環です。

これらの作物は、例年だと11月末の感謝祭で紹介したり、皆で食したりします。残念ながら、本年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、「感謝祭は中止」。しかし、栽培活動は例年通り行っています。持ち帰る学年もあると思いますので、ご家庭で地域の豊かな恵みをお楽しみください。

他にも、主な行事が大きく変更…。

10/24(土)；運動会は午前中開催（昼食無）
短縮プログラムで実施

11/20(金)；5年生宿泊訓練；日帰り登山
（背振山）

※6年修学旅行；コロナの状況を考慮して、
時期や内容について検討中

主な行事の内容等
について、詳細は後日お知らせします。
ご理解ご協力をお願いします。

避難所の夜～台風10号～

猛烈な台風という予報に、不安と緊張感を覚えた9月6日。避難所となった大溝小には、236名という多くの方々が…

【役場の方々の対応に…】

避難所開設に伴い、多くの役場職員の方々が学校に到着。手際よく準備をし対応される姿に、感謝とともに心強さを感じたのは私だけではないと思います。

台風や水害など、今までにも多くの緊急対応をされてきたからこそできる姿に、同じ公務員として身が引き締まる思いでした。

【学校の対応】

学校では、15教室を開放。児童の机を集めてスペースをつくり、ガラスが割れた時も想定して南側の窓際に並べました。

台風通過後には、コロナ対策のため全職員で消毒作業。ここでも、役場職員の方々が10名近くも応援に来てくださいました。

少しは地域に貢献できたかなと思いつつ、教員としての地域への貢献は「地域の未来を担う子ども達の豊かな成長を支えること」と、改めて学校教育の充実を図っていきたいと思いました。

今までに例を見ないほど多くの方々が避難して来られたにも関わらず、大きな混乱もなく、皆さん協力したり譲り合ったり…。これも、日頃からの地域の絆の賜だと思いました。東日本大震災や九州北部豪雨など、多くの災害現場で見直された地域の力が、ここ大木町大溝校区にもしっかりと根付いていることを感じました。